

4月 園だより ~きづき~

キ3園 第1号

R8年 4月1日

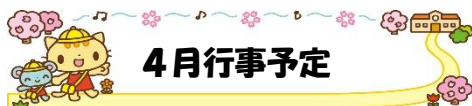
キッドワールドサード保育園

園長 是永 妃富

ご入園・ご進級おめでとうございます

桜の花も咲き、春の日差しが暖かく心地よい季節になりました。

新年度のスタートです。子ども達が元気にいきいきと過ごすことができるように、職員一同精いっぱい務めたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。不安なことなどがありましたら、いつでも職員に声掛けください。園だよりは、はいチーズで毎月配信します。



4月行事予定

- 1日(水) 新年度スタート
- 10日(金) 身体計測
- 16日(木) 健康診断
- 20日(月) 避難訓練

11日(土曜)はお弁当日です



修了おめでとうございます



お知らせ・お願い

7人のこども達が修了しました。

今年度行事予定

- 9月13日(土)
お祭りごっこ
- 11月7日(土)
運動会ごっこ
- 3月13日(土)
発表会ごっこ & 修了式

担任紹介

- 0歳児 藤澤 沙也加
- 1歳児 糸永 真琴
- 2歳児 本庄 祐介

主担任です。よろしくお願い致します。

園について

開所 7:00~19:00
(18時以降は延長料
金がかかります)
TEL は 554-8500
にお願いします
日・祝日・年末年始は
お休みです

- ・持ち物には名前の記入をお願い致します。消えかかったときには「書く」ことをお願いします。
- ・布団は毎週持ち帰りになります。干したり、シーツを洗ったり洗濯をお願いします。
- ・保護者の方の勤務先が変更になったり、引っ越しなどの場合知らせてください。
- ・毎月だよりを配信します。「園だより・クラスだより・給食だより・保健だより」必ずお読みください。
- ・毎日お風呂に入り、着替えをして衛生面に気をつけましょう。手洗いも忘れず行いましょう。



牧野 桂一先生

キッドワールドこども園、セカンドこども園、サード保育園の総括園長先生です。毎月子どもの心理面を知らせてくれます。参考にしてください。



子どもが望む大人の世界⑥～17の子どもの願い～

牧野 桂一

子どもを取り巻く近年の環境の中で、私たちは多忙化という大きな時代の流れの中にあり、日常生活の中で精神的なゆとりを失いがちになっています。そのため、子ども一人一人とゆっくり向き合い、丁寧に関わることが難しくなっています。その結果、本来子どもが持っている素晴らしい素質や可能性に気づかないまま、関心や感動が薄れ、子どもと共に育ち合う喜びを見失ってしまう傾向も見られます。

このような中で大切にしたいのが、「子どもに対する驚き」と「関心」です。

子どものしていることに「すごいね」「そんなこと考えたの？」と驚きをもって関わることは、子どもの成長を大きく促します。

大人が子どもの成長や行動に驚きを示すことで、子どもは生活や活動への意欲を高め、自主性や主体性、やる気を育てていきます。そして、生き生きとした姿を見せるようになります。

また、自分の発見や成長に対して大人が関心を持ち、驚いてくれることで、子どもは「大切にされている」と感じます。そこから「自己肯定感」や「自己有能感」が育ち、「もっとやってみたい」「もっと喜ばせたい」という気持ちが芽生え、次の挑戦へとつながっていきます。そのため、昨日できなかったことが今日できるようになったなど、小さな変化に気づき、その場で驚きを言葉にして伝えることがとても大切です。

子どもは本来、探究や冒険が大好きで、知らないことに対して強い知的好奇心を持っています。大人が驚きをもって関わることで、その好奇心はさらに高まり、「知りたい」「やってみたい」という気持ちが広がっていきます。

また、子どもが何かに夢中になっているときや、不思議な行動をしているときに、「わあ、すごいね」と受け止めることは、子どもの成長にとって非常に大きな意味があります。活動を制限するのではなく、集中できる環境を整えることで、子どもの力はより引き出されていきます。大人が本気で驚くことで、子どもは「自分の行動には価値がある」と感じ、自信を持つようになります。そして、「次はどんなかな」と探究心がさらに高まっていきます。

さらに、このような関わりは親子の信頼関係を深めることにもつながります。同じものを見て一緒に驚き、感動する経験は、「自分は受け入れられている」という安心感を育て、心の土台をつくっていきます。

ここで、「驚き」が子どもの成長にとって大切な理由を整理してみます。まず一つ目は、「自己肯定感」と「有能感」を育てることです。大人の驚きは、子どもにとって自分の力を映し出す鏡のような役割を果たします。二つ目は、同じものに目を向けて共に感じる「共同注意」を育て、信頼関係や愛着形成の基盤になることです。三つ目は、子どもの独特な感性や発達の段階に気づくきっかけになることです。

そして最後に、大人自身の心にも良い影響を与え、子どもとの関わりをより豊かなものにしてくれます。

このように、子どもへの「驚き」を大切にするためには、

- ・日々の小さな変化に目を向けること
- ・他の子どもと比べず、その子自身の成長を認めること
- ・子どもの疑問に寄り添い、一緒に考えること
- ・大人自身も好奇心を持ち、学びを楽しむこと

が大切です。

忙しい毎日の中でも、子どもとの新鮮な出会いを大切にしながら関わっていきたいものです。

なお、今回も紙面の都合によりすべてを紹介することができませんでした。次回は、

⑫子どものしていることに驚きを持つ

⑬あるがままの姿を受け入れる

⑭明るくほほえみの多い保護者になる

⑮ユーモアに富んだ保護者になる

⑯子どもの名前をたくさん呼んであげる

⑰人として美しい親になる

といった内容についてご紹介していきます。



発表会ごっこクッキング(ロールケーキの上のトッピング)園庭で遊んでいる様子です。みんなこんなに大きくなりました

